



国立大学法人東京学芸大学と鎌倉投信が協定し、 教育養成系大学では国内初となる 「教育インパクトファンド」の設立準備を開始

国立大学法人東京学芸大学（東京都小金井市、学長：國分充）は、鎌倉投信株式会社（神奈川県鎌倉市、代表取締役社長：鎌田恭幸）と連携協力協定を締結し、教育養成系大学では国内初となる「教育インパクトファンド」の設立に向けた準備を開始することになりましたので、お知らせいたします。





東京学芸大学



2024 年 7 月 30 日 13 時 東京学芸大学にて

1. 教育インパクトファンド設立のねらい

東京学芸大学では、教育は現在、大きな変革やイノベーションを要請されているものの、特に公教育関連の取り組みはビジネス化することが難しいため活発な投資がなされず、教育研究に対する支援も十分ではないという現状を理解しております。加えて、テクノロジーの教育への導入が進む中、世界的に Edtech 業界への参入、起業は大きな流れとなりつつあり、多くのスタートアップが生まれてきているが、産業界からのアプローチでは、公教育の現場である学校の問題の本質や諸課題を十分に把握することが難しく、スタートアップ、教育現場の双方にとってウィンとなるような連携、協働ができていない現状があります。そこで、東京学芸大学と鎌倉投信との連携により、大学がハブとなり、教育の向上を志す多くのスタートアップと教育研究、教育現場との協働を生み出すことをファンド設立のねらいとしています。教員養成系の大学からの教員、学生の起業は起きにくい状況にあり、今回の連携により、教員養成系の大学発の企業の機運が生まれることを期待しております。

2. 社会的な背景

鎌倉投信では、2021 年 3 月に、これからの社会を良くするスタートアップに投資をすることを目的とした「創発の荅 1 号投資事業有限責任組合」を組成し、これまで 19 社への投資を行っています。そのうち 10 社が、教育や人財育成に取組むスタートアップです。これ



らスタートアップへの投資育成活動を通じて、日本の教育・人財育成環境が大きく変化する現状を目の当たりにしています。教育においては、大学入試が刷新される中で、探究学習、総合型選抜試験対応、デジタル/オンライン学習も広がっています。企業においては、人的資本の概念が導入され、加えて DX/AI 等の急速な活用によって、企業における働き方が変化し、人事評価・処遇の抜本的な見直しが必要とされるなど、教育、採用、人財育成、雇用において、これから大きな社会変化とビジネスチャンスがあるものと認識しています。一方で、これまで多くの教育人財を輩出する東京学芸大学においては、教育環境の変化に対応できる新たな教育人財の育成や、学内の研究成果を社会に実装する取組みを推進するなど、教育系大学の社会的価値をさらに発揮することが求められると理解しております。こうした環境の中で、教育・人財育成領域の変革を基盤にし、社会の良い変化を加速させることや、投資先のスタートアップと東京学芸大学との共同研究等を進め社会インパクトの増大を図ること等を狙い、この度、鎌倉投信と東京学芸大の 2 者で協定し、教育インパクトファンドの組成に向けて準備を進める事としました。

3. 教育インパクトファンドについて

これまで、教育・人財育成分野のスタートアップに対する投資は、教育の効果や成果との因果関係を示すことが難しく、かつ長期的であることから、投資の意味やリターンを疑問視されることが多い状況でありました。しかし近年の諸外国では、教育インパクトファンドの設立が増加しており、教育効果＝社会インパクトを算定する取組みが進んでいます。鎌倉投信では、東京学芸大学と連携し、スタートアップが生み出すインパクトを共同研究等によって測定することを視野に入れ、また、将来的には教育分野における EBPM（証拠に基づく政策立案）に貢献できるように取り組む方針です。

ファンド概要（予定）

目的	教育・人財育成領域のスタートアップと東京学芸大学が共同で研究や事業開発を行うことで、社会的インパクトを高め、日本の教育・人財育成領域における良い変化を加速させる
開始時期	2025 年春のファンド設立を予定
投資対象	教育・人財領域のスタートアップ

4. これからのアクション

2025 年春の設立に向けて、目的やビジョンを共有する大手企業、金融機関等と連携し、ファンドの設立に向けて準備を進めます。

5. 東京学芸大学の概要

法 人 名 国立大学法人東京学芸大学



目 的 東京学芸大学は、人権を尊重し、すべての人々が共生する社会の建設と世界平和の実現に寄与するため、豊かな人間性と科学的精神に立脚した学芸諸般の教育研究活動を通して、高い知識と教養を備えた創造力・実践力に富む有為の教育者を養成することを目的とする。

所 在 地 東京都小金井市貫井北町 4 丁目 1 番 1 号

資本金等 164,788 百万円

教職員数 835 名（2023 年 5 月 1 日時点）

6. 鎌倉投信の概要

商 号 鎌倉投信株式会社

業務内容 投資信託の運用・販売業務、投資事業組合の運用・募集業務

登録業務 投資運用業、第二種金融商品取引業 関東財務局長（金商）第 2293 号

加入協会 一般社団法人 投資信託協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

本 社 神奈川県鎌倉市雪ノ下四丁目 5 - 9

設 立 2008 年 11 月 5 日

資本金等 565.5 百万円（含 資本準備金）

役職員数 21 名（常勤）

以上

ご注意

「創発の荅」は上場会社や機関投資家などの特定投資家向けの適格機関投資家専用私募の投資事業組合ファンドです。個人のお客様など、一般投資家の方がこのファンドに持分出資することはできません。また、同ファンドへの出資の公募はおこなっておらず、この共同リリースは同ファンドの勧誘を目的とするものではありません。

【問合先または担当者】

国立大学法人東京学芸大学 研究・連携推進課 連携第一係

T E L : 042-329-7901

メールアドレス : icb-tgu@u-gakugei.ac.jp